

令和4年12月18日

futbol y vida

Poco a poco ...
poco a poco ...



2023 Team TRM で手応えを自信に変えていく!!
W杯から多くを学び吸収し習得する!!

2023 Team “K’s football style” で『新しい景色』を見る!!

日本代表スピリット&W杯プレーから多くを学び、吸収し自分のものへ!!

2023 New team がスタートを切って一ヶ月が経過しました。49期生の残した結果を超えること＝ベスト8を目標に掲げ、早速、最初のトレーニングでは声出しや復唱、移動時の走りなど部活のイロハのところを再確認してから始まりました。人は誰しも始めのうちは意識も気持ちも高ぶっているので声は出せるのですが（初日は他のクラブがビックリするほどのトーンでした）、やはりここが片倉クオリティ…。残念ながら一週間も続きませんでした。

強豪校や伝統校には、このようなメンタリティが既に兼ね備わっている子どもたちが多く集まっているので、出来るのが当たり前であり結果を出すためには必然なのです。公式戦などの厳しい闘いの中で、戦術・スキル・フィジカルは勝負の行方を決める上で大切な要素ですが、それらを支配し操作するのはベースとなるメンタリティです。サッカーの三つの神器は一朝一夕には身に付けられませんが、メンタリティの部分は日々の生活やトレーニングの中で意識を変えるだけで強くそして遅く成長することができます。子どもたちには『オフ・ザ・ピッチも大切なトレーニング場である』と話していますがメンタリティを育成・強化することは日常（学校）生活の中にたくさんあります。それができるのが、伝統があり強いチームであり、強豪校とTRMから学べる最も重要だと感じていることなのです。今の片倉高校にはもう少し時間が掛かりそうです。しかし、私の経験上ではそういう選手が揃った時に「新しい景色」が見えたものなのです。上を目指し、前進する、進化するためには、現状維持では駄目なのです。今まで以上の努力や苦しみ、厳しさにも乗り越えていかなければなりません。新チームがどんな景色を見ようとしているのか？本気で見たいと思っているのか？見るために本気で努力をしているのか？そのために自分自身を変えることができるのか？「49期生を超える＝都ベスト8」を有言実行するためには子どもたち自らが考動（考えて行動する力）する力をこの冬の厳しいトレーニングで身に付けて欲しいものです。

新チームがここまでの期間で行ったTRMでは、同じ都立高校ながら上の存在であるTリーグ勢の東大和、東大和南、狛江、石神井高校とお互いベストメンバーではありませんでしたが、現段階では十分に闘えるという手応えを感じました。しかし、あくまでもTRMであり立ち位置を変えたわけではありません。二月の新人戦に向けて今後予定されているTRMや各種フェスティバルを通して個人もチームも成長できるように一層努力していきます。



<上の49期生チームをNew Teamで超えていく>

新フィールドテスト(F&V社)開催!!

今年度の新たな取り組みのひとつとして、二年ぶりにサッカーフィールドテスト（『F&V』社）を11月末に実施しました。新たなシステムはフィードバック方法が斬新的でテストの結果が個人のメールに送られてくる予定です。今回の数値を見て客観的に判断する材料として、育成年代からトップチームまで現在登録しているチームのデータをアプリを使って比較でき、自分自身のストロングポイントとウィークポイントを把握して、成長の手掛かりとなり、このシステムを導入して、今までにないサービスを受けられます。スマホもこのように自分自身の成長のために有効活用できるといいですね。

来週末には、『F&V』社の方が来校して今回の測定のデータをもとにこれをどのようにフィードバックしてトレーニングしていくのかを子どもたちにレクチャーしてもらう予定です。また、今後は、トレーニングだけではなく身体作りに必要な「食育」に関しても、管理栄養士の方をお願いして指導していただこうと考えています。

＜新チームでは新たな取り組みに挑戦していく＞



「第四回 K's football 少年サッカー大会」

～令和から未来へ、日本のフットボールを変えるのは君たちだ 八年後ここからW杯出場選手を～

12月上旬、片倉高校グラウンドで「第四回 K's football 少年サッカー大会」を行いました。今年度二回目の少年サッカー大会の開催となります。参加チームの12チームは、ほとんどが現部員のジュニア（小学校）時代の出身チーム。今の彼らのベースを作って頂いた感謝すべき大切な場所です。多くのコーチや保護者の方にお世話になり今があるので、今回もその恩返しが少しでもできたのではないかと思いますし、久しぶりに再会するコーチたちと懐かしそうに話しをする姿はこちらも気持ちがホッコリします（やって良かったなど）。身体だけは大きくなり、生意気そうな顔に見えるかもしれませんが、小さい頃の面影は残っているようです。やはり、自分の教えた子どもたちが高校でもサッカーを続けて、小学生（後輩）たちに関わっている姿は嬉しいもので、多くのコーチ陣からそのような言葉を掛けられました。大会当日は準備、運営、審判、子どもたちの世話役など全て高校生が行いました。もちろん、上手くいかないことも多々ありましたがそれも全て勉強です。今回の反省を活かして、次回（3月）に繋げていきます。

この中から、数年後に片倉高校サッカー部に憧れてユニフォームに袖を通し、高校サッカーで活躍するサッカー少年が現れることが夢ですね。もう間近かもしれません。

